

日本劇作家協会 2016年度(平成28年度) 事業報告

1. 会員(2017年3月31日)

正会員:528名 入会:26名
復帰:3名
退会:10名
除籍:0名
逝去:3名

賛助会員 団体:16団体
個人:11名

2. 会合

①理事会 3回:5月22日、2月13日、3月31日
②代議員総会 2回:5月22日(定時)、2月13日(特別)
③会員総会(定足数に満たず会員集會に) 1回:5月22日
④運営委員会 3回:5月22日、10月25日、3月31日

3. 育成、コンクール、セミナー

①第22回劇作家協会新人戯曲賞
7月～応募作受付と一次審査+二次審査、12月11日に公開の最終選考会を開催(於 座・高円寺)
②戯曲セミナー
5月～3月、受講生56名(於 座・高円寺)
③研修課(文化庁委託事業)
5月～3月、担当講師:坂手洋二、佃典彦、松田正隆、横内謙介
④公開講座(文化庁委託事業)
8月6日7日、「舞台を体験するワークショップ」「劇作家たち、蜷川幸雄氏を語る」「鴻上尚史 連続トークセッション」(於 座・高円寺)

4. 普及、ワークショップ、シンポジウム

①月いちリーディング
1)東京:5月、6月、9月、10月、11月、1月、3月(於 座・高円寺)
2)神奈川:8月、2月(於 神奈川県立青少年センター)
3)大阪:6月、8月、1月(於 common café)
4)北九州:2月(於 枝光本町商店街アイアンシアター)
5)プロモーションビデオの製作と公開
②11月23日、関西版月いちリーディング スペシャル企画「劇作バトル! 土田英生 VS 上田誠」(於 ドーンセンター)
③12月10日11日、リーディング・フェスタ2016 戯曲に乾杯! (於 座・高円寺)
『敵』を巡る短編戯曲』『小松幹生』を継いでいく「新人戯曲賞最終候補作プレビューリーディング」
④「劇作家と俳優のための せりふの読み方 ワorkshop」
1)9月19日～22日、講師:坂手洋二(於 芸能花伝舎、梅ヶ丘 BOX、梅丘パークホール)
2)2月20日、21日、24日、25日、講師:鐘下辰男(於 芸能花伝舎、笹塚メソッド、ノアスタジオ学芸大)
※以上、いずれも文化庁委託事業

5. 出版

①第22回劇作家協会新人戯曲賞最終候補作掲載「優秀新人戯曲集2017」、12月に刊行
②戯曲オンデマンド出版・電子書籍「二十一世紀戯曲文庫」18タイトル、販売継続
③会報(『ト書き』)の発行 2回:57号(11月)、58号(3月)
④戯曲英訳出版(文化庁委託事業):3月に「ENGEKI:Japanese Theatre in the New Millennium 2」刊行

6. 調査、資料収集

①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)の蔵書(主に戯曲)収集に協力

7. 協力、パートナーシップ、後援

①一般財団法人光文文化財団主催の第20回鶴屋南北戯曲賞に協力
②座・高円寺の「2016年度日本劇作家協会プログラム」11作品が上演(4月～3月)
③座・高円寺の「2018年度日本劇作家協会プログラム」の募集と推薦
④障がい者の観劇支援活動を行っているシアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)に協力
⑤熊本市と熊本市文化事業協会の「2017くまもと・高校生演劇祭」に名義後援

- ⑥広島演劇協会の「第四回中国ブロック劇王決定戦」に名義協力
- ⑦劇王神奈川実行委員会の「マグカル Presents 劇王神奈川Ⅴ」に名義後援
- ⑧神奈川かもめ短編演劇祭実行委員会の「マグカル Presents 神奈川かもめ短編演劇祭」に名義後援
- ⑨日本演出者協会の「演劇人の集い2016」に名義後援
- ⑩国際演劇協会日本センターの「紛争地域から生まれた演劇8」に名義協力
- ⑪吉里吉里忌実行委員会の「吉里吉里忌 2017」に名義後援
- ⑫第22回まつもと演劇祭実行委員会の「第22回まつもと演劇祭」に名義協力
- ⑬白河文化交流館コミネス指定管理者 特定非営利活動法人カルチャーネットワークの「第2回ハイスクール 劇王 高校生短編演劇競技大会」に名義後援
- ⑭九州地域演劇協議会の平成29年度「九州戯曲賞」に名義協力
- ⑮秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場の「連続講座『築地小劇場からうけつぐもの』」に名義協力

8. 国際交流

- ①日韓演劇交流センター、英訳・仏訳戯曲集贈呈などの継続活動と海外からの問い合わせなどに対応

9. 著作権、契約

- ①戯曲の著作権や上演許諾などに関する問い合わせへの対応を継続

10. 声明・アピール・公開質問・言論表現

- ①10月13日、「TPPと著作権に関する緊急アピール」発表
- ②2月22日、「『新共謀罪』に反対する表現者の緊急アピール」発表
- ③12月26日、会員意見交換会「劇作家協会は、どこまで語るべきか？」開催(於 芸能花伝舎)

11. 支部、地域交流事業

- ①北海道支部:8月13日14日、「教文演劇フェスティバル2016短編演劇祭」(札幌市)に協力
- ②東北支部;
 - 1)11月19日20日、「第69回岩手芸術祭戯曲大会 東北演劇見本市 in 盛岡」(盛岡市)を主催
 - 2)震災演劇連絡センターWebサイト開設
- ③東海支部;
 - 1)6月～1月22日、第2回「俳優A賞」を主催
 - 2)9月24日、「ナビチリーディング」(名古屋市)を主催
 - 3)1月21日22日、「劇本Ⅱ～劇王アジア大会東海地区予選～」(長久手市)を主催
 - 4)12月～3月19日、「第5回ミノカモ学生演劇祭」(美濃加茂市)に協力
- ④関西支部;
 - 上記4. で記載の関西での「月いちリーディング」と「劇作バトル！」を主催
- ⑤中国支部;
 - 1)10月9日10日、「第四回中国ブロック劇王決定戦」(広島市)を主催
 - 2)中国支部戯曲集『せぼね』発行
- ⑥九州支部:上記4. で記載の北九州での「月いちリーディング」を主催
- ⑦沖縄支部:1月14日15日「劇琉王 Vol.0 沖縄プレ大会」(那覇市)を共催

12. その他

- ①平成29年度文化庁新進芸術家海外研修員の応募受付 → 応募者なし
- ②協会のロゴマークを決定
- ③10月17日、「斎藤憐さんをふりかえる会」を共催(於 座・高円寺)
- ④3月8日、「小松幹生さんを偲んで語ろう会」を主催(於 劇団青年座)

13. 特記

- ①2月13日、特別代議員総会において、2017年3月1日から1年間の理事5名を選任。
理事:鴻上尚史、坂手洋二、中津留章仁、マキノノゾミ、横内謙介
- ②2月13日、特別代議員総会で選任された理事による理事会において、2017年3月1日から1年間の代表理事(会長)を選定。
代表理事(会長):鴻上尚史
※副会長の永井愛と渡辺えりも再選
※代議員選挙が実施されない年なので、特段の事情がない限り、理事、会長、副会長は再選される。

以上